

ヒラサナエ

兵庫県：A

Davidius moiwanus taruii

環境省： —

種の概要

腹長22～32mm、後翅長21～28mm程度。東北日本に広く分布するモイワサナエの本州中部亜種である。体色は黒色で、胸部および腹部に黄色斑がある。翅胸前面に八の字型の斑紋を有する。山地のフキなどが自生する開けた湿地や休耕田の細流などに生息する。幼虫は泥底の緩やかな流れに見られる。成虫は5月～7月に見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

本州、種モイワサナエは北海道、東北

県内分布記録

豊岡市、宍粟市、たつの市、神河町、香美町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○	○	○

特記事項

兵庫県北部の、高標高地の湿地流という特殊な環境に生息する。現状こういった湧水起源の安定した湿地は県北部に点在するものの、いずれの個体群も分断化されており、時に大きな個体数変動が見られるので、遺伝的多様性の低下が懸念される。生息地に何らかのインパクトが生じると、その個体群が絶滅する可能性がある。

保護上の留意点